

①学習課題（小学校3年生）



【国語】けいかくを立てて、少しずつとりくんでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「きつつきの^{しょうばい}商売」（教科書^{きょうかしよ}16～28 ページ）のつづきをします。

①16～25 ページを一度音読します。

②前回のノートや取組^{とりくみ}シートに書いたことをふりかえって、「1」と「2」の場面のちがいを思いうかべます。

③16～25 ページをもう一度音読します。

※②でかんがえた場面のちがいを音読する時にくふうできるといいですね。

④きつつきの音を聞いた動物^{どうぶつ}たちがどんなようすだったかノートや取組シートに書きます。

⑤「きつつきの商売」の学習をして、感じたことや考えたこと、できるようになったことなどをノートや取組シートに書きます。学校がはじまった時に、先生や友達に伝えるじゅんびをします。

◆29 ページの漢字「実」～「事」までと、31 ページのかん字をノートにれんしゅうします。

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・①では、お子さんが止まらず読めていたら、褒めてあげてください。
- ・③の音読に入る前に、「違いが伝わるように音読できるといいね。」と目標をもたせてあげると、考えたことと音読につながりが生まれます。
- ・③については、「きつつきが聞かせた音はどんな音だったかな。」「それを聞いた動物はどんな様子だったかな。」などをお子さんに尋ねてみることも学習の深まりにつながります。
- ・お子さんが学習した様子を後から確認する場合、ノートや取組シートを見て、感想を伝えてあげてください。

【社会】

＜勉強^{べんきょう}すること＞

◆「わたしのまち みんなのまち」（教科書^{きょうかしよ}６～７ページ）のイラストを見て、取組シートやノートに、気づいたことを書きましょう。

- (1) どんなことをしている人がいますか。たくさん見つけよう。
- (2) どんなたて物がありますか。また、何をするとところですか。たくさん見つけよう。
- (3) 絵の中にある公共^{こうきょう}しせつをさがしてみよう。

※「公共しせつ」とは何でしょう。教科書１２ページで調べてみよう。

◆教科書１２～１３ページを見て、あなたの学校のまわりの様子について考えよう。

- (1) あなたの学校のまわりには、どんな公共しせつがありますか。そのたて物や場所の名前を書いてみよう。

◆「地図^{ちず}って何だろう」（地図帳^{ちずちよう}７～８ページ）を見て、取組シートやノートにまとめましょう。

- (1) 地図帳８ページのトライ！に取り組もう。
- (2) ㊦の絵図^{えず}と ㊦の地図^{ちず}をくらべてみて、地図にはどんなよさがあるか、気付いたことを書いてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

◆「わたしのまち みんなのまち」

- ・教科書Ｐ６～７の絵からまちの様子を調べる学習では、子どもらしい発見を認め、建物や場所の役割、仕事の種類などにつながるよう、声かけをしてください。

◆「地図って何だろう」

- ・「学校から見て駅はどの方向にあるかな。」と問いかけるなど、地図に親しむような関わりが効果的です。

※地図帳のＰ７に、ＱＲコードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

【算数】

「※」は、学習するときのアドバイスです。

＜勉強すること＞

◆かけ算のきまり～交かんのきまり～（教科書13 ページと 14 ページ）

- (1) かえでさんが、「七六」をわすれてしまっていてこまっているよ。どんなヒントをあげたらいいかな？

※ゆきさんやみなとくんの言っていることがヒントになるよ。

- (2) 2年生の学習を思い出して、ノートに7のだんの九九の答えを書いてみよう。

- (3) 7のだんの九九のならば方を見て、「七六」の答えが42になる理由を説明できるかな。ノートに説明を書いてみよう。おうちの人に言葉で説明できるなら、伝えてみよう。
※どのようにふえているかを見てみよう。

- (4) 教科書14 ページの●の図を使って、「 7×6 」と「 6×7 」の答えが同じになる理由を説明できるかな。ノートに説明を書いてみよう。
※この問題は、とてもむずかしいので、学校がはじまってから、学級のみんなで話し合ってもいいです。

- (5) ほかの九九でもできるのかな？「 4×8 」と「 8×4 」のように答えが同じになる九九を見つけてみよう！

＜保護者による関わり方のポイント＞

◆かけ算のきまり～交換のきまり～（教科書 P13、14）

- ・時間があれば、お子さんの書いた理由を見たり、説明を聞いてあげたりすることが、お子さんの意欲を引き出すことにつながります。
- ・お子さんが、2年生で学習した「かけ算」を忘れている場合は、この学習で復習しておくことが大切です。

【理科】

＜勉強^{べんきょう}すること＞

◆「風やゴムで動かそう」（教科書^{きょうかしよ}48～50 ページ）を見て、風でものをうごかしましょう。

- ・家にあるいろいろな物を息^{いき}でふいたり、うちわであおいだりすると、どのように動いたかな。取組シートやノートに書いてみましょう。

※どのようにすると大きく動くかな。

◆教科書 51 ページの問題（風の強さによって、物の動き方はどのようにかわるのだろうか。）について、よそうして、じっけんしたけっかを書きましょう。

【家でできる じっけん】

- ・ティッシュペーパーや紙などの軽い物をうちわであおいだり、息^{いき}でふいたりして動かします。

※強くしたり、弱くしたりして動き方をくらべてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・この学習では、風の強さによる動き方の違いに気付くことを大切にしています。
- ・「ものによって動き方に違いはあるのかな」など、風で物が動く楽しさに気付くよう声をかけてあげてください。